

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

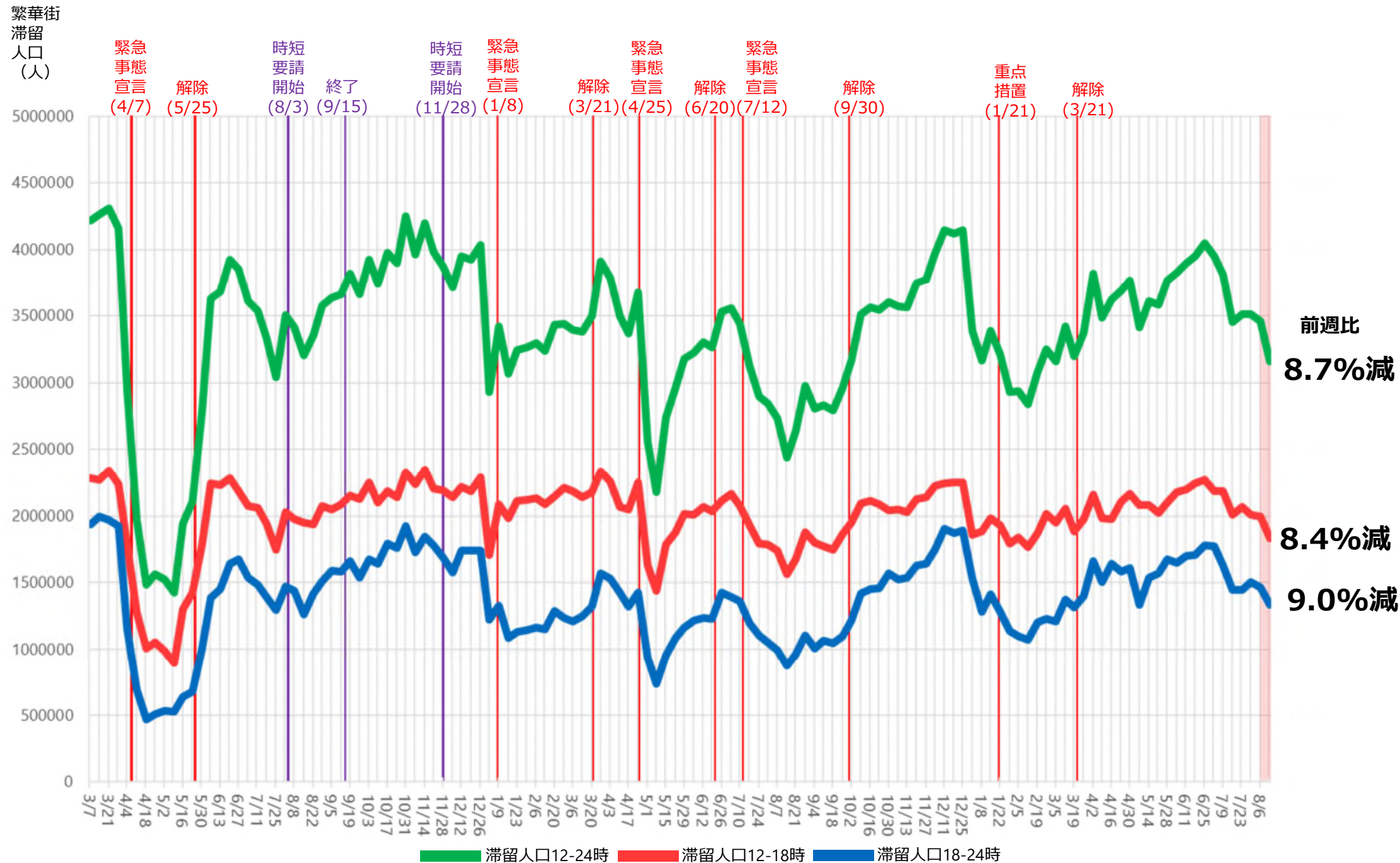
東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター

東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (8月14日までのデータ分析：要点)

【直近の繁華街滞留人口の状況】

- 夜間滞留人口（18-24時）：お盆休みの影響もあり前週より急減（前週比：9.0% 減）。ハイリスクな深夜帯も急減しており（前週比：13.2%減）、2今年3月の重点措置解除前後とほぼ同水準まで減少。
- 昼間滞留人口：3週連続で減少、特に直近1週間で急減（前週比：8.4%減）。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：若年層の占有率増加が目立つ。一方、中高年層は減少。

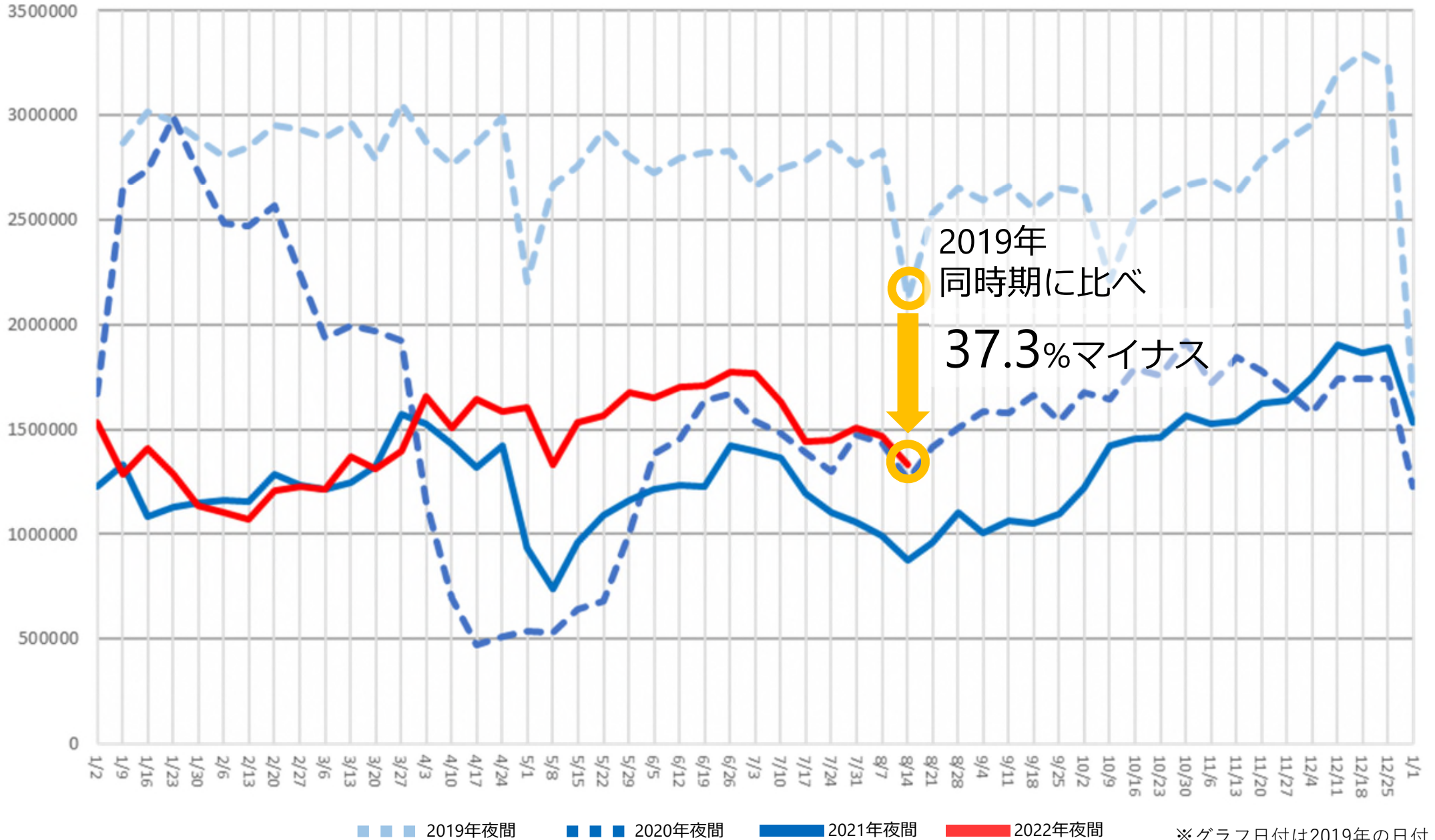
時間帯別主要繁華街滞留人口の推移：東京（2020年3月7日～2022年8月13日）



※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

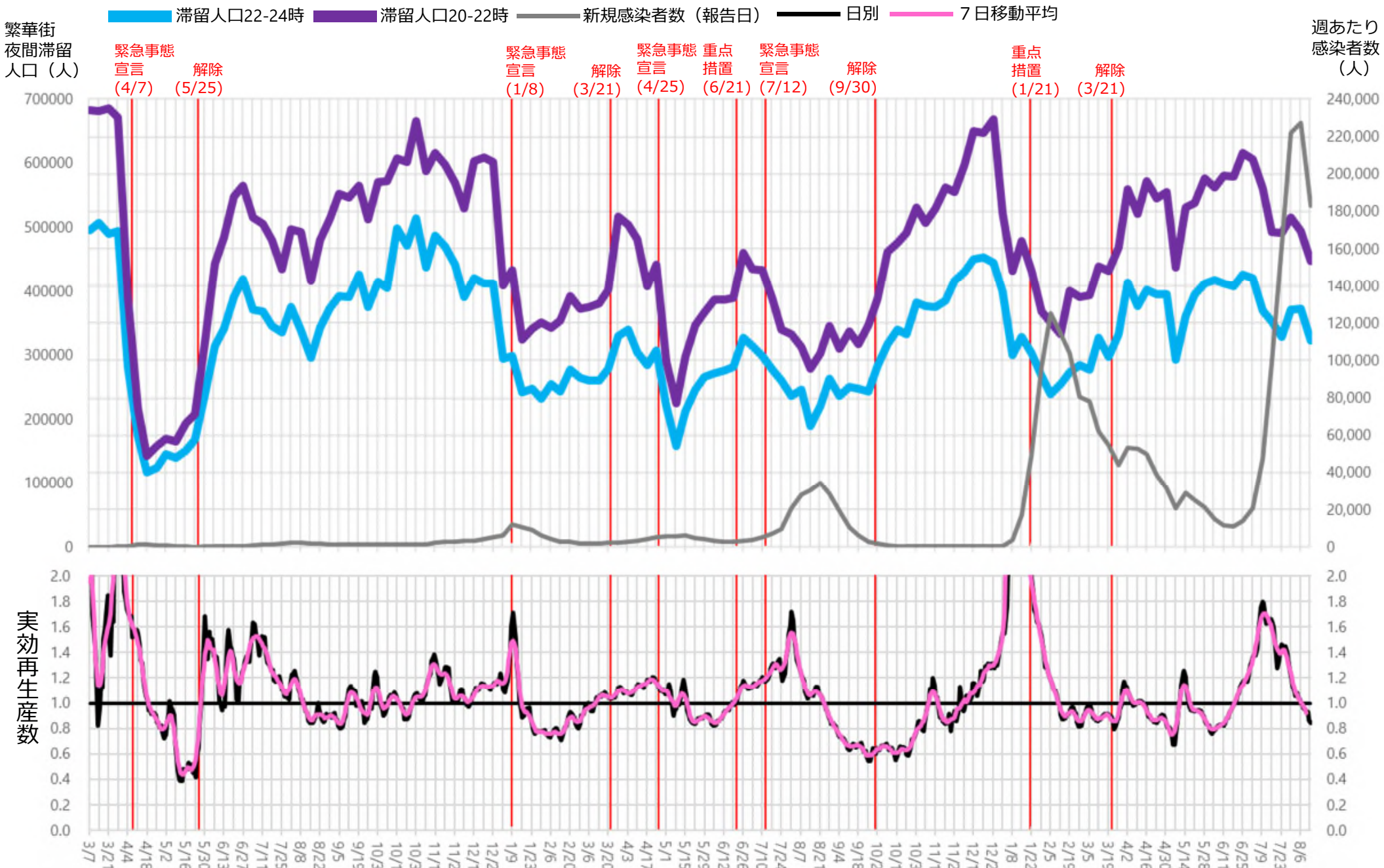
繁華街夜間滞留人口（18-24時）東京：2019年以降の推移（2019年1月6日～2022年8月13日）

繁華街
滞留人口
(人)



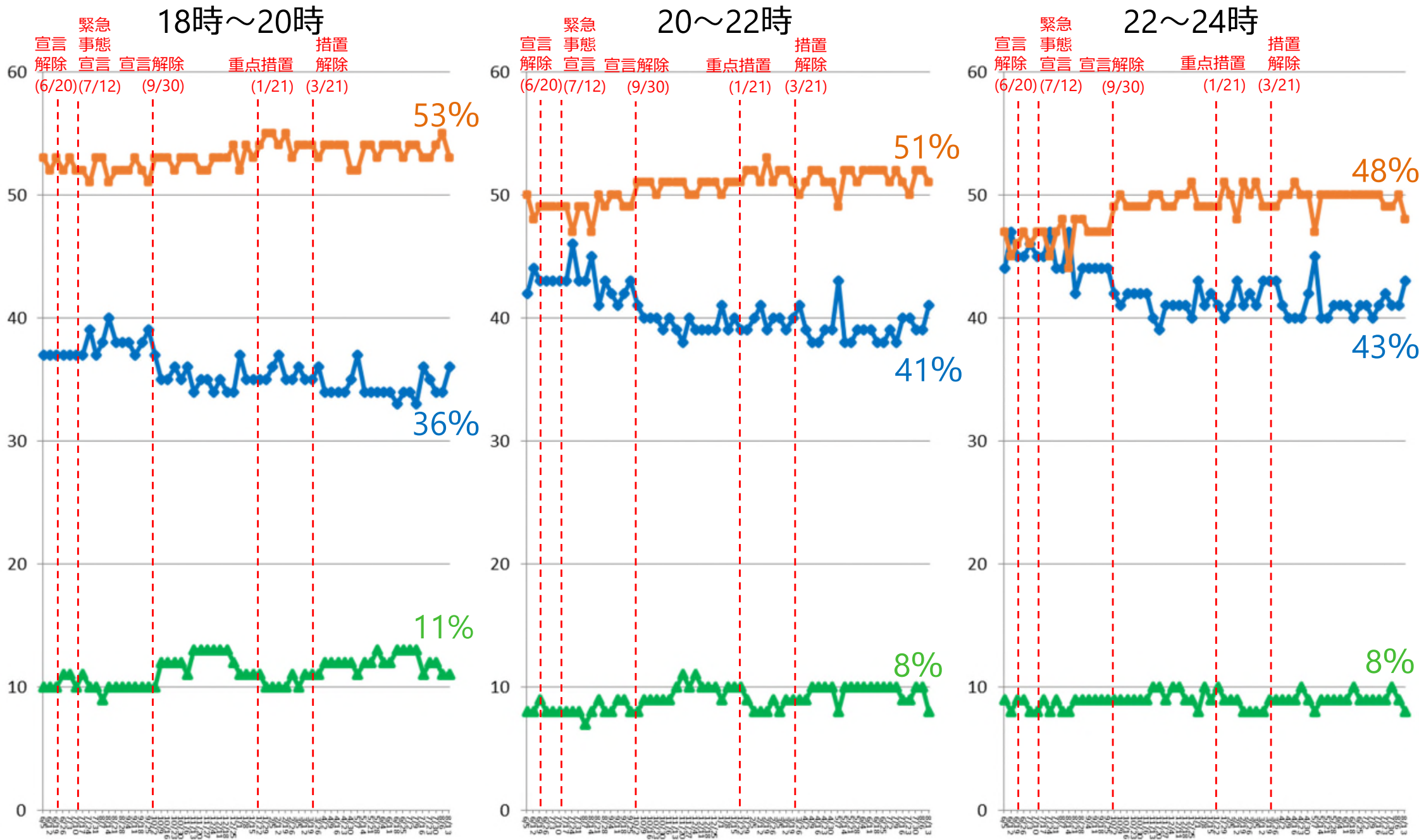
※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数：東京（2020年3月1日～2022年8月13日）



※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率（2021年6月1日～2022年8月13日）



年齢別夜間滞留人口推移（22-24時・7日間移動平均：2021年3月7日～2022年8月13日）

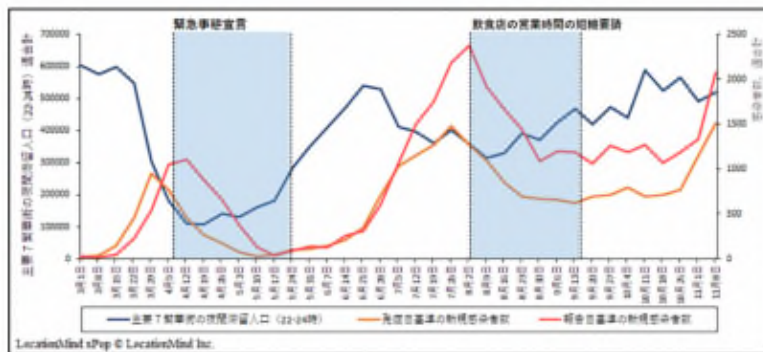
対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

繁華街
夜間滞留
人口（人）



ハイリスクな滞留人口と感染状況との関連

- GPSの移動パターンから主要繁華街(ハイリスクな場所)にレジャー目的(ハイリスクな目的)で滞留したデータを抽出※
- 夜間帯(ハイリスクな時間帯)の滞留人口量を1時間単位で推定
- 繁華街夜間滞留人口データとその後の新規感染者数、実効再生産数との関連が確認されている※※



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021